



RI会長
李東建



第2720地区ガバナー
杉谷卓紀



宇佐ロータリークラブ会長
今仁和武

週報宇佐



陵王面



孔雀文馨

●例会日 木曜日 PM12:30

●例会場 宇佐市沖須町
トキハビルディング長洲店 2F
TEL (0978) 38-1112

会長 今仁和武
幹事 本瀬戸孝一
編集 高橋和治

12月は家族月間

本日のプログラム (12月18日)

1. 会長の時間
2. 幹事報告
3. 委員会報告
4. スマイルカード
5. 内部卓話 津々良洋一会員
「道のはなし」
6. 出席報告

12月の行事予定

- 4日 内部卓話 長浦善徳会員「北米見聞録 2008」
- 11日 外部卓話 NPO法人 安心院いやしの里
中村フミヨ代表
- 18日 内部卓話 津々良洋一会員「道のはなし」
- 25日 クラブ協議会・年次総会
於：かんぼの郷宇佐 18:30～

第2040回例会 平成20年12月11日 の記録

- 🕒 点 鐘
- 🎵 ソング 我等の生業
- 👤 ゲスト NPO法人 安心院いやしの里 代表 中村フミヨ様
- 👤 ビジター 吉富秀幸君 (小倉中央RC)

会長の時間 今仁和武会長

電機メーカーと福祉

関東の総合電機メーカーでは、野武士と言われる日立が最大だが大企業病のようであり、殿様のような三菱電機の株価は野間口会長のリーダーシップで高くなった。関西の家電メーカーでは、Panasonicが Sanyoを子会社化しようとしているが、金融危機で資金が足りないそうだ。シャープは液晶パネル工場を亀山工場(三重県)

に集約し、派遣社員380人を削減している。

日本には電機メーカーが多すぎるようで、外貨稼ぎのためにハイテクを研究する宿命だが、福祉や環境ビジネスにも向かっている。一例として、介護ロボット・障害者用パソコンや太陽電池・燃料電池などを開発している。来年は景気が厳しくなるので、ロータリアンも新しいビジネスモデルを正月には夢見て、実現したいものだ。

USA-OITA

第2720地区 宇佐ロータリークラブ

事務局 〒872-0032 大分県宇佐市大字江須賀2999番地の2 株式会社ユニックス内
TEL. FAX : 0978-38-2370 URL : <http://usarotary.com/>

| | |
|---------|---------|
| 幹 事 報 告 | 本瀬戸孝一幹事 |
|---------|---------|

1. 来信

- 1)ガバナー事務所より「ロータリー財団地域セミナーハンドブック」
- 2)ガバナー事務所より「地区大会RI会長代理決定と、記念講演講師決定のお知らせ」
 - ・RI会長代理 2002～03年度 RI会長
ビチャイ・ラタクル氏
 - ・記念講演講師 RI第2680地区PG、弁護士
深川純一氏
- 3)ガバナーエレクト事務所より「次年度会長、幹事、事務局の調査」
- 4)ガバナー補佐より「会員増強、R財団寄付、米山奨学会寄付の状況について調査」
- 5)宇佐2001RCより「チャリティーゴルフ寄付の新聞掲載記事」

2. 例会変更

中津中央RC：①12/23(火)の例会は、法定祝日の為休会 ②12/30(火)の例会は、定款第6条第1節に基づき休会 ③1/6(火)の例会は、同日18:30～「グランプラザ中津ホテル」に変更；新年家族会の為

中津平成RC：①1/1(木)の例会は、定款第6条第1節に基づき休会 ②1/8(木)の例会は、同日18:30～「割烹 嘉乃」に変更；新年例会の為

※大分市内RC、別府市内RC、竹田RCの変更内容は事務局まで

3. 週報受理

中津中央RC、津久見RC

4. 理事会報告

なし

5. お知らせ

- 1)出欠の回覧を致します。
 - ①地区大会 [2/7(土)]
 - ②年次総会 [12/25(木)]
 - ③新年例会 [1/10(土)]
 - ④ゴルフ愛好会 [1/11(日)]
 - ⑤公式訪問写真購入 (1枚 1000円)

6. 欠席連絡

河村正一会員、砂山正則会員、津々良洋一会員
藤本博和会員、和田久継会員

7. 本日の当番

住本憲彦会員、高橋和治会員

| | |
|---------|---------|
| スマイルカード | 末宗為十委員長 |
|---------|---------|

本瀬戸孝一幹事：中村フミヨ様、ようこそ宇佐RCへ。卓話を宜しくお願い致します。

新開洋一会員：中村様、卓話をよろしく願います。ありがとうございます。

石部幸二会員：柳ヶ浦高校看護科の講義のため早退させていただきます。

山上明宣会員：45才(?)になりました。もう20年がんばります。

😊ニコニコ累計 219,500円

| |
|------|
| 外部卓話 |
|------|

「安心院いやしの里について」

NPO法人 安心院いやしの里

中村フミヨ代表



◆いやしの里とは

NPO法人 安心院いやしの里はその前身である、ボランティアによる精神的弱者(※)の支援を主体とした生活共同体が、より多くの方の力になれるように、また永続的な活動と共同生活を維持していくために、平成18年に大分県の承認を受け、正式にNPO法人となりました。

(※)心に悩み・苦しみを抱え、精神的に弱っておられる方

現代人の心の悩み・苦しみは忙しさに起因します。溢れる情報、複雑または疎遠な人間関係、街の喧噪や汚染された生活環境、こうしたストレスで元気を失い病んだ心と身体は、薬やサプリメントだけでは治せません。元気を失った心と身体の回復には、「**大自然での生活とケア**」がより有効的です。

◆大自然での生活〈自然との共生〉

都会と離れ、美味しい空気を味わい、汗を流して共に働き、また心の悩みを打ち明け、大自然の中で、自身（心）と向き合う“ゆったりとした”時間を持つことで、“元気”を取り戻し、気持ちも新たに日々の生活に帰っていく…。このような元気回復を必要としておられる方にとって、私達が何よりも大切と考えていることが、この大自然との共生なのです。

いやしの里では理念として、一人一人が強さを求めるのではなく、お互いに支え合うことで、誰かの力になれる喜びを実感し、自らとも真摯に向き合うこと、共に歩むことの力強さを何よりも大切にしていきたいと考えています。

安心院の大自然は雄大であると共に、その厳しさに打ちのめされる時、人間の小ささを自然に受け入れることが出来ます。そして、人間が己の弱さを素直に受け入れ、同時に互いの弱さも受け入れながら、助け合い、支え合って人生を豊かにしていく、そんなイメージを大切にしてい、安心院町の方々とも助け合いながら、共同体を維持発展していくことができれば幸いです。

◆大自然でのケア〈精神弱者の支援〉

私達が行う精神的弱者の支援とは、安心院の大自然の中で、利用者の方が希望されるコース（生活期間）によって、生活を共にしながら心身の活力を取り戻すプランを提供いたします。

いやしの里における生活の基本は、大自然との共生、自給自足の原則に基づく労働です。心

の悩みの多くは、心身のバランスの欠如にあると思われま。いやしの里では、都会のルールを一旦横に置いて、大自然の中で共同生活を歩みながら、自らの内面と向き合っていくことで、そのたくましさを身につけていくことを大切にしています。ただ利用者の方には、それぞれ健康状態や時間的な制約もありますので、ご希望の生活期間に応じて可能な心のケア、また希望者には“内観”による心のケアも取り入れることが出来ます。（内観についての詳細はお問い合わせ下さい。）

その他にも、大自然でのお散歩や軽作業による身体のケア、自然食による体調の好転などを取り入れていきます。そうした利用者の方に適したコースを取り入れて頂くことで、次第に自然と向き合えるようになることが理想であり、そこから元気の回復を目指していただきたいと考えています。

～元気回復プラン～

「元気」というのは、誰も元々から持っている“エネルギーが満ちた状態”のことです。

「忙しい」とは文字通り“心を亡くす”という状態で、いつの間にか元々のエネルギーがなくなってしまっています。「元気になる」とは元々持っている“気”力をもう一度、満タンにして活力を取り戻した状態を目指そうということと言えます。

単に大自然、単に温泉、単に健康食、単にコミュニケーションということであれば、今はお金さえ出せばどこにでも見つけることが出来ます。そのような中で私たちが探し求めて辿り着いたこの安心院町の山間にあるかやごもり萱籠という大地には不思議な魅力に満ちていたのです。そしてここに生まれた“いやしの里”には元気を取り戻すために必要な**四つの気**を見出すことが出来るのです。



◆四つの気とは

すなわち、元気回復プランの核は、「“元気”を取り戻すこと」です。

その為に必要なことは、「元気」という言葉自体を改めて見つめること。

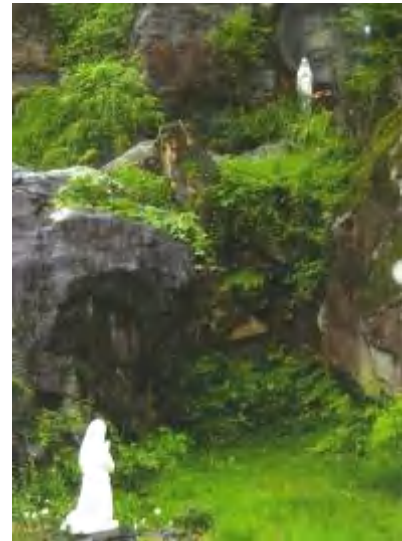
すると見えてくるのは“元もとの気”という気（＝エネルギーそのもの）が大切だと分かります。

いやしの里において大自然に抱かれ（天の気）、その自然の中で仲間と共に分かち合う喜びに預かり（地の気）、自然のエネルギーに満ちた食事や水に満ちる栄養を身体のすみずみまで染み込ませ（水穀の気）、大自然と人が織り成す渾然一体の雄大な景色、まさにこれぞ芸術の極みを堪能する（芸術の気）。

つまり元気回復プランとは、これら四つの気を滞在中にどんどん吸収することで自分の心の底にある元々のエネルギーをもう一度燃焼させて、元気になって都会・日常生活へと戻っていくのです。

元気回復を求める人にとって大切なことは、まずその根本的な原因である“忙（＝心を亡くす、もしくは一時的にせよ亡くさざるを得ない状況の連続”）を一旦脇において、四つの気を受けて、自らのエネルギーを呼び覚まし、自分

らしさを取り戻し、もしくは忙しさの中で自分らしささえ見つめることなくきてしまった自分を改めて発見して、“元気”という原点を得て、日々の生活を活力あるものとしていく。それが大切です。



| | |
|-------------|----------------|
| 出席報告 | 石部幸二委員長 |
|-------------|----------------|

第2040回（12月11日）

| | |
|---------|---------------|
| 会員総数 | 33名 |
| （内出席免除） | 1名 |
| ----- | ----- |
| 出席数 | 27名 |
| （内事前MU） | 4名 |
| ----- | ----- |
| 欠席数 | 5名 |
| ----- | ----- |
| 出席率 | 84.38% |

回事前MU

河村正一会員、津々良洋一会員、藤林鋭司会員
藤本博和会員（以上3名 公式訪問クラブ協議会）

回欠席者

小野田義文会員、是永潤一会員、砂山正則会員
米澤哲也会員、和田久継会員

※出席率の更正

◎12月4日の出席率は2名のメイクアップにより78.13%→**84.38%**に更正

回事後メイクアップ

小野田義文会員、米澤哲也会員
（以上2名 公式訪問クラブ協議会）